

日本テコンドー協会 昇級審査会 2階級昇級実技審査課題

改訂 2009年2月15日改訂

施行 第88回夏季(6月)以降

日本テコンドー協会(JTA)審査会は、より一層、量よりも質を重視すべく下記の通り審査課題を改訂する。

目 次

表8 青帯・3級から茶帯・1級への2階級昇級審査課題

表9 紫帯・4級から赤帯・2級への2階級昇級審査課題

表10 緑帯・5級から青帯・3級への2階級昇級審査課題

表11 水帯・6級から紫帯・4級への2階級昇級審査課題

表12 黄帯・7級から緑帯・5級への2階級昇級審査課題

注 意

一、対象

- 1、一般部・男子とは、高校生以上の男性受験生をいう。
- 2、一般部・女子とは、高校生以上の女性受験生をいう。
- 3、壮年部・男子とは、30歳以上の男性受験生をいう。ただし、本人が希望すれば一般部・男子とする。
- 4、壮年部・女子とは、30歳以上の女性受験生をいう。ただし、本人が希望すれば一般部・女子とする。
- 5、中学生部とは、少年少女部の中学生の男・女受験生をいう。
- 6、小学生甲部とは、少年少女部の小学校4年生～6年生の男・女の受験生をいう。
- 7、小学生乙部とは、少年少女部の小学校1年生～3年生の男・女の受験生をいう。
- 8、児童部とは、少年少女部の未就学の男・女の受験生をいう。

二、2階級審査受験対象

- 1、所属するクラブ長またはそれに準ずる責任者の許可を要する。
クラブ長は、月の会費・部費等の未納者の2階級昇級審査受験を許可してはならない。
- 2、少年少女部小学生乙部および児童部は、2階級昇級審査を受験することはできない。
少年少女部小学生は、昇段迄の過程を重視するよう指導することが望ましい。
J T A本部の少年少女部指導方針は、
一步一步堅実に昇級した後、昇段することで持続的な努力の姿勢および堅実な人生観の涵養を目指している。
- 3、少年少女部小学生甲部の2階級昇級審査受験は、受験時に5級・緑帯でなければならない。
ただし、所属するクラブ長の許可を要する。
- 4、無級・白帯は、2階級昇級審査を受験することができない。
なお、他流派テコンドー段位者・級位者に対する白帯時の2階級昇級審査受験は廃止する。

三、実技審査 型と約束組手

- 1、J T Aの2階級昇級実技審査は、年齢・性別にかかわらず、すべて同質の価値を有していなければならない。
そのためには、年齢・性別にかかわらず、同じ審査課題を合格していなければならない。
そこで2階級昇級実技審査課題は、試し割以外は、すべて同一課題とする。
- 2、2階級昇級の実技審査は、質の高さを求める。
2階級昇級審査受験者に対する保留制度は無い。
少年少女部甲部は、新たに設けた「調整審査」を通じて、約束組手の修得をはかるものとする。
1級合格後、1年以内に未試験の約束組手を審査する「調整審査」を受けなければならない(表1-B)。

四、実技審査 試し割

- 1、試し割は、1階級昇級審査課題と区別すべく試し割の板数を増やし、もしくは高さを上げるものとする。
少年部甲部も試し割を実施するが、複数枚数とはせず1枚とする。
- 2、審査会は、審査要項に記して有るとおり、怪我をしてもスポーツ安全保険が適用されない。
そのため審査時の怪我は、すべて自己責任として処理することにつき
あらかじめ受験者本人(未成年の場合保護者)の同意を必要とする。
同意の意思の確認は、受験料の振込みをもって確認している(J T Aホームページ上に明記公開している)。
- 3、試し割審査は、2階級昇級審査受験の場合は必修とする。

過去における審査時の怪我は、大部分が試し割りによって生じている。
この事実を知らながら試し割を棄権できる通常の1階級昇級ではなく、あえて2階級昇級を希望する受験者は、
「審査時の骨折や打撲等の怪我は、すべて自己責任として処理する」という覚悟でなければ受験できない。

2階級昇級審査の試し割は、必修であるため、成功しなかった場合、
型や約束組手で高評価を得ていないのであれば2階級特進を難しい。

怪我防止の観点から、ワンチャンス・ワントライとする。

表8 青帯・3級から茶帯・1級への2階級昇級審査課題

課題	蹴武型 審査	中級応用約束組手 審査	威力審査 試し割り
対象			
一般部・男子 壮年部・男子	清 衡 謙 信	5番 6番 7番 8番 9番 10番	踵落とし蹴り 八分板2枚 一般部男子 上段に限る 壮年部男子 中段以上とする
一般部・女子 壮年部・女子	清 衡 謙 信	5番 6番 7番 8番 9番 10番	踵落とし蹴り 一般部女子 上段に限る 八分板1枚+六分板1枚 壮年部女子 中段以上とする 六分板2枚
中学生 小学生甲部	清 衡 謙 信	5番 6番 7番 8番 9番 10番	踵落とし蹴り 少年部はすべて中段以上とする 中学生男子 八分板1枚+ 六分板1枚 中学生女子 六分板2枚 小学生・男女 八分板1枚

表9 紫帯・4級から赤帯・2級への2階級昇級審査課題

課題 対象	蹴武型 審査	中級応用約束組手 審査	威力審査 試し割り
一般部・男子 壮年部・男子	謙 信 武 蔵	2番 3番 4番 5番 6番 7番	後ろ回し蹴り・踵蹴り 一般部男子 上段に限る 八分板1枚+六分板1枚 壮年部男子 中段以上とする 六分板2枚
一般部・女子 壮年部・女子	謙 信 武 蔵	2番 3番 4番 5番 6番 7番	後ろ回し蹴り・踵蹴り 一般部女子 中段以上とする 六分板2枚 壮年部女子 上段に限る 八分板1枚
中学生 小学生甲部	謙 信 武 蔵	2番 3番 4番 5番 6番 7番	後ろ回し蹴り・踵蹴り 中学生は上段、小学生は中段以上 中学生男子 八分板1枚 中学生女子 六分板1枚 小学生・男女 六分板1枚

表10 緑帯・5級から青帯・3級への2階級昇級審査課題

課題 対象	蹴武型 審査	約束組手 審査	威力審査 試し割り
一般部・男子 壮年部・男子	武 蔵 龍 馬	初級基本約束組手 9番 初級基本約束組手 10番 中級応用約束組手 1番 中級応用約束組手 2番 中級応用約束組手 3番 中級応用約束組手 4番	後ろ横蹴り・踵蹴り 八分板 2枚以上
一般部・女子 壮年部・女子	武 蔵 龍 馬	初級基本約束組手 9番 初級基本約束組手 10番 中級応用約束組手 1番 中級応用約束組手 2番 中級応用約束組手 3番 中級応用約束組手 4番	後ろ横蹴り・踵蹴り 六分板 2枚以上
中学生 小学生甲部	武 蔵 龍 馬	初級基本約束組手 9番 初級基本約束組手 10番 中級応用約束組手 1番 中級応用約束組手 2番 中級応用約束組手 3番 中級応用約束組手 4番	後ろ横蹴り・踵蹴り 中学生男子 八分板 2枚 中学生女子 六分板 2枚 小学生・男女 八分板 1枚

表11 水帯・6級から紫帯・4級への2階級昇級審査課題

課題 対象	蹴武型 審査	約束組手 審査	威力審査 試し割り
一般部・男子 壮年部・男子	龍 馬 青 淵	初級基本約束組手 6番 初級基本約束組手 7番 初級基本約束組手 8番 初級基本約束組手 9番 初級基本約束組手 10番 中級応用約束組手 11番	横蹴り・踵蹴り 八分板 2枚以上
一般部・女子 壮年部・女子	龍 馬 青 淵	初級基本約束組手 6番 初級基本約束組手 7番 初級基本約束組手 8番 初級基本約束組手 9番 初級基本約束組手 10番 中級応用約束組手 11番	横蹴り・踵蹴り 六分板 2枚以上
中学生	龍 馬 青 淵	初級基本約束組手 6番 初級基本約束組手 7番 初級基本約束組手 8番 初級基本約束組手 9番 初級基本約束組手 10番 中級応用約束組手 11番	横蹴り・踵蹴り 中学生男子 八分板 2枚 中学生女子 六分板 2枚

表12 黄帯・7級から緑帯・5級への2階級昇級審査課題

課題 対象	蹴武型 審査	初級基本約束組手 審査	威力審査 試し割り
一般部・男子 壮年部・男子	青 淵 南 洲	3番 4番 5番 6番 7番 8番	前蹴り・踵蹴り 八分板 2枚
一般部・女子 壮年部・女子	青 淵 南 洲	3番 4番 5番 6番 7番 8番	前蹴り・踵蹴り 六分板 2枚
中学生	青 淵 南 洲	3番 4番 5番 6番 7番 8番	前蹴り・踵蹴り 中学生男子 八分板 2枚 中学生女子 六分板 2枚